

国・事業直轄負担金支払い拒否を評価

：住宅水道委員会で知事質問：

さすに今日に至ったことに問題がある。

私が所属する、住宅水道常任委員会で、以下の点について質問いたしました。

水資源機構への負担金支払い拒否

橋下知事・今回の措置は国の改革を促すために強く訴えています。裁判闘争をすべきかが継続して取り組みます。

橋下知事・今回の措置は国の改革を促すために強く訴えています。裁判闘争をすべきかが継続して取り組みます。



大阪府住宅供給公社の短期借入金

公の場合、四月一日に借入金（府から借入二百九十二億円）の資金運用について点検しました。

そのため、①事実上の長期借入金となつていて、②府会計から借り入れのため、将来負担率の対象から外れ、資金の流れが不透明なこと。③バランスシートにも計上されない。以上のようないくつかの問題も、国が説明責任を果た

北海道夕張市は第3セクターへの貸付金を、会計の出納機関が5月末であることとに着目し、不正常な形で運用していました。そのために、市民も議会も多額の赤字が存在していることを知らされていませんでした。

それを踏まえて、私は改め

知事が国事業に対する府の事業負担金の撤廃と官僚の天下り先となっている所管法人の人事費分担払い拒否を明確にされたことは、私も同じ考

えです。

その一つの大戸川ダム等を建設する独立行政法人・水资源機構の天下り人件費を三〇%削減するだけでなく、施設利用負担についても、定額から利水料に応じた支払いに

大阪・京都・滋賀・三重の四知事のダム中止意見書は大変重大で、画期的なことです。議員団でも昨年六月に元淀川水系委員会の宮本博司氏

橋下知事・直轄負担金もこの問題も、国が説明責任を果た

府水道部は利水からの撤退をすでに表明していますが、ダムが中止になれば撤退負担金も当然、消滅するのではないかと考えます。

橋下知事・直轄負担金もこの問題も、国が説明責任を果た

府市水道事業統合は新段階へ

府と大阪市の水道事業統合は統合後の事業形態について新たな提案が行われました。

ご承知のように、池田市は単独事業ですが、府下では市町村へ水道水を供給する府営水道と大阪市水道があります。

人口減少で水需要が減少し、環境問題に端を発したダム問題など多くの課題があり、統合で問題解決をめざしてきました。府・市・市町村が合意できる指定管理者制度による事業継承案が発表されました。

えられ、これを是正する必要があるのではないでしょうか。

されましたが、早急に対処しなければならない。できるところから改善します。

久安寺北でがけ崩落

3月16日朝、がけが崩落し一時、通行止めとなりました。

私が府議に就任した平成15年にも今回の箇所から少し南に下がった箇所で崩落し、一ヶ月以上に渡って通行規制が行われました。

ご承知のように、この区間は危険箇所のためにトンネル手法によるバイパス道路が計画されていましたが、橋下財政改革の結果、用地買収が進まず休止となりました。私は現道の安全対策を進めることを提案していますが、この度の崩落は私の心配どおりになってしまいました。

当局に対して、根本的な安全対策を強く要請いたしました。



<崩壊現場>